

お客様各位

2018年10月吉日
 エスペック株式会社

エスペック信頼性セミナー2018（大阪・東京）のご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 下記の通り、エスペック信頼性セミナー2018を大阪と東京の2会場で開催いたします。
 お仕事の上で少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。ご参加を心よりお待ちしております。 敬具

記

大阪会場 2018年11月6日（火） 13:30～16:30 [13:00受付開始]

場 所：A P大阪駅前梅田1丁目 A Pホール（地下2階）

[住 所] 大阪府大阪市北区梅田1-12-12

[アクセス] JR「大阪駅」 中央南口より徒歩約2分

他、各線の「大阪駅」、「梅田駅」、周辺駅よりアクセス可能です。

<https://www.tc-forum.co.jp/kansai-area/ap-osakaekimae/oe-base/>

東京会場 2018年11月28日（水） 13:30～16:30 [13:00受付開始]

場 所：秋葉原UDX CONFERENCE（6階）※ ※昨年の会場（UDX GALLERY 4階）とは異なります。ご注意ください。

[住 所] 東京都千代田区外神田4-14-1

[アクセス] 各線「秋葉原駅」より 徒歩約3分

東京メトロ銀座線 末広町駅1番又は3番出口より徒歩3分

<http://www.udx-c.jp/access.html>

申込方法：下記URLのWEBサイトよりお申込ください。（会場のお間違えにご注意ください）

■大阪会場 申し込みフォームはコチラ↓↓■

https://espec-recpt.azurewebsites.net/HTMLClient/?accept_no=1801S

■東京会場 申し込みフォームはコチラ↓↓■

https://espec-recpt.azurewebsites.net/HTMLClient/?accept_no=1802S

*先着順での受付となりますのでお早めにお申し込みください。

*当社同業の企業様からの申込はご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

受講料：無料（事前申込が必要です）

問 合 先：エスペック信頼性セミナー2018 事務局（ふるや たなべ古家・田邊）

[Mail] espec-seminar2018@espec.co.jp / [Tel] 06-6358-4751

以上

講演内容

* 下記は講演順序ではございません。

* 内容は予告なく変更する場合がございます。

〔特別講演〕

▶ HALT 研究コンソーシアムによる設計評価手法と標準化ガイドライン

講師：横浜国立大学

リスク共生社会創造センター 准教授 ^{しづたに} 濫谷 忠弘 様

「概要」

横浜国立大学リスク共生社会創造センターでは、リスク共生の視点から HALT を用いた高品質設計のあり方について検討するためのコンソーシアムを立ち上げ、HALT に関する調査研究活動を進めています。HALT は IEC62506 では定性的加速試験方法の一つとして位置づけられていますが、その活用方法については様々な可能性を有する手法の一つでもあります。本講演では、コンソーシアムの概要とともに次年度発刊予定の HALT 標準化ガイドライン(標準サンプルのための試験方法ガイドライン)について概説します。

▶ HALT の試験事例と振動解析のご紹介

講師：エスベック株式会社 テストコンサルティング本部

河合 秀己

「概要」

近年、製品の開発サイクルの短縮が求められており、HALT は短時間で評価結果が得られることから、関心が高まりつつあります。エスベック信頼性セミナー2017 でコンデンサ及び表面実装抵抗テスト基板による HALT の結果を報告しました。本講演では、これまでのエスベックでの HALT の試験事例報告のまとめと、HALT の特徴である振動の解析（テスト基板を用いたシミュレーション解析や基板上部品の挙動解析）についてご紹介します。

▶ 環境試験規格の動向と新製品のご紹介

講師：エスベック株式会社 開発本部

大阪会場：田中 浩和

東京会場：松隈 修

「概要」

近年、電子機器の小型化による熱ストレスによる故障増加や、使用環境の多様化による、熱や高温（結露等）環境への対応など、機器の故障に結び付く機会が増加しています。そこで、本講演では、熱衝撃試験や温度サイクル試験、および温湿度サイクル試験の環境試験規格の動向と併せ、それに対応した新製品についてご紹介します。